

レポート作成支援week!!

# レポート作成セミナー

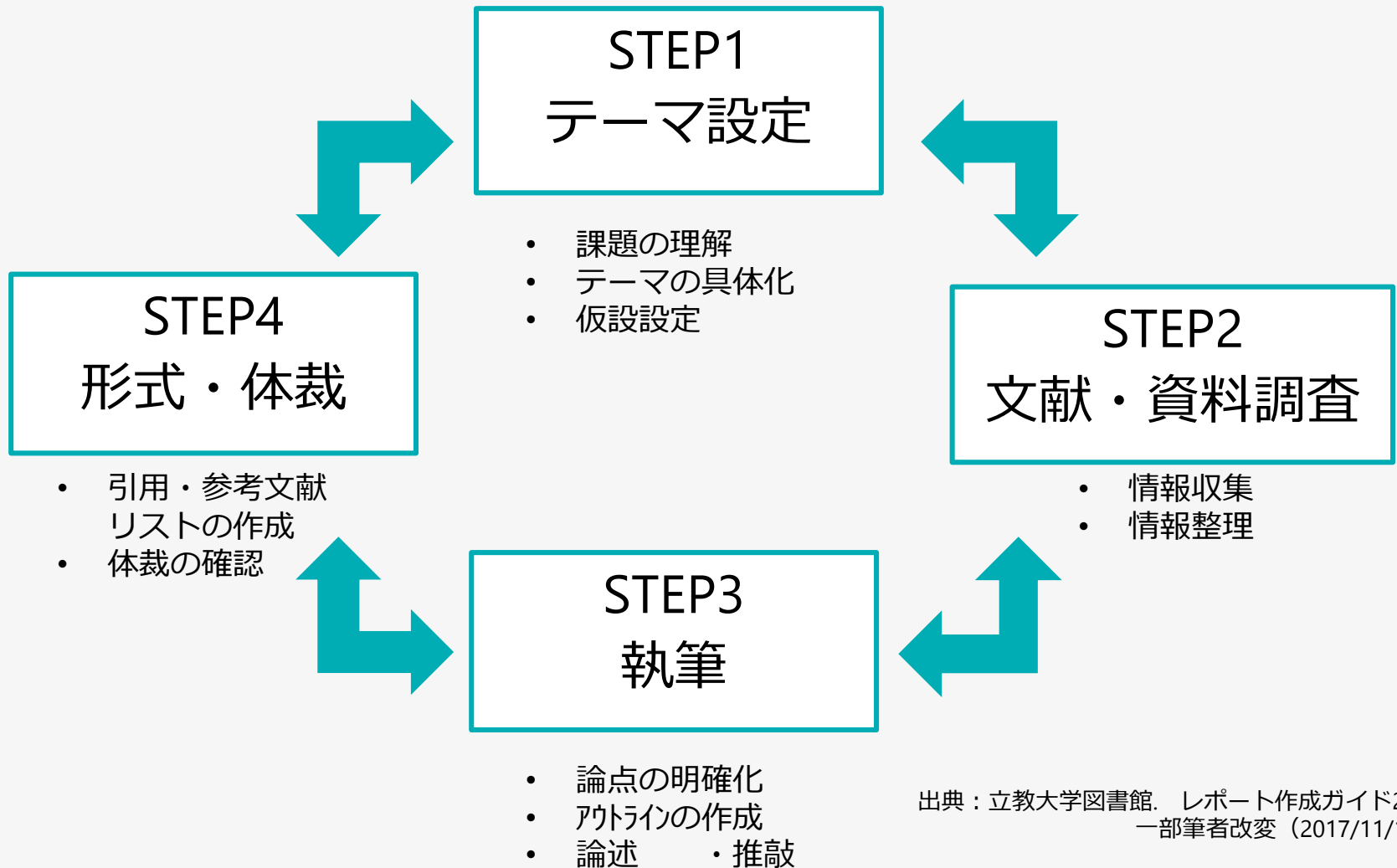
33 スライド

2019年7月2日 池袋図書館2階 講習会室2  
立教大学図書館 ラーニングアドバイザー

レポート作成は  
スケジュール管理  
との戦い

です

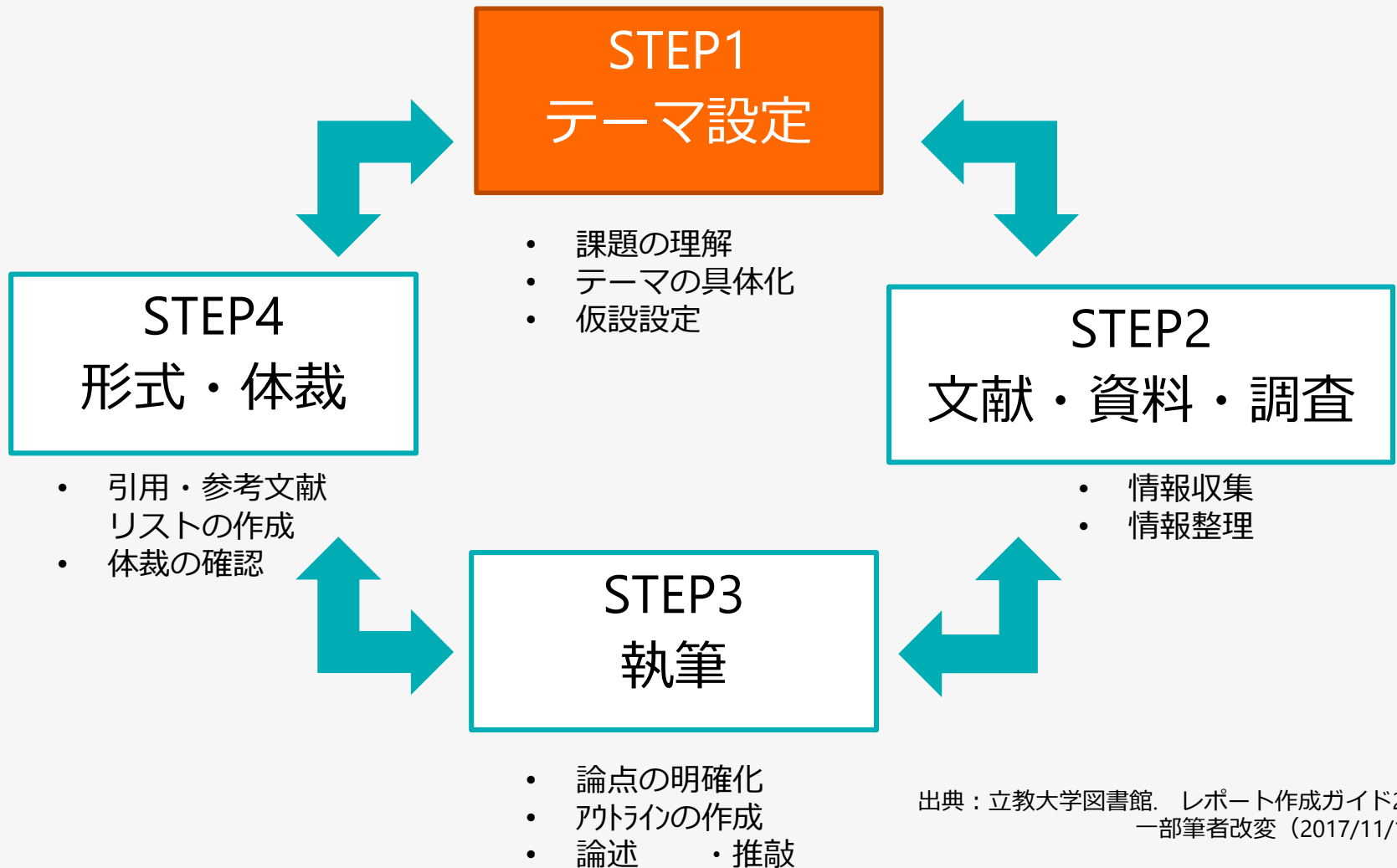
# レポート完成までの道筋



出典：立教大学図書館、レポート作成ガイド2016  
一部筆者改変（2017/11/17）

レポート課題  
「子どもとメディア」について  
自由に論じなさい

# レポート完成までの道筋



出典：立教大学図書館. レポート作成ガイド2016  
一部筆者改変 (2017/11/17)

レポート作成は

**テーマ設定**

**(下準備)**

が50%です

# 課題を理解する

- 報告型

  - 資料まとめ

  - 事実報告

  - 読者に知識を付加する

- 論述型

  - 読者に議論を提出（問いかける）

  - 自身の主張と論拠

- 形式

  - 用紙サイズ

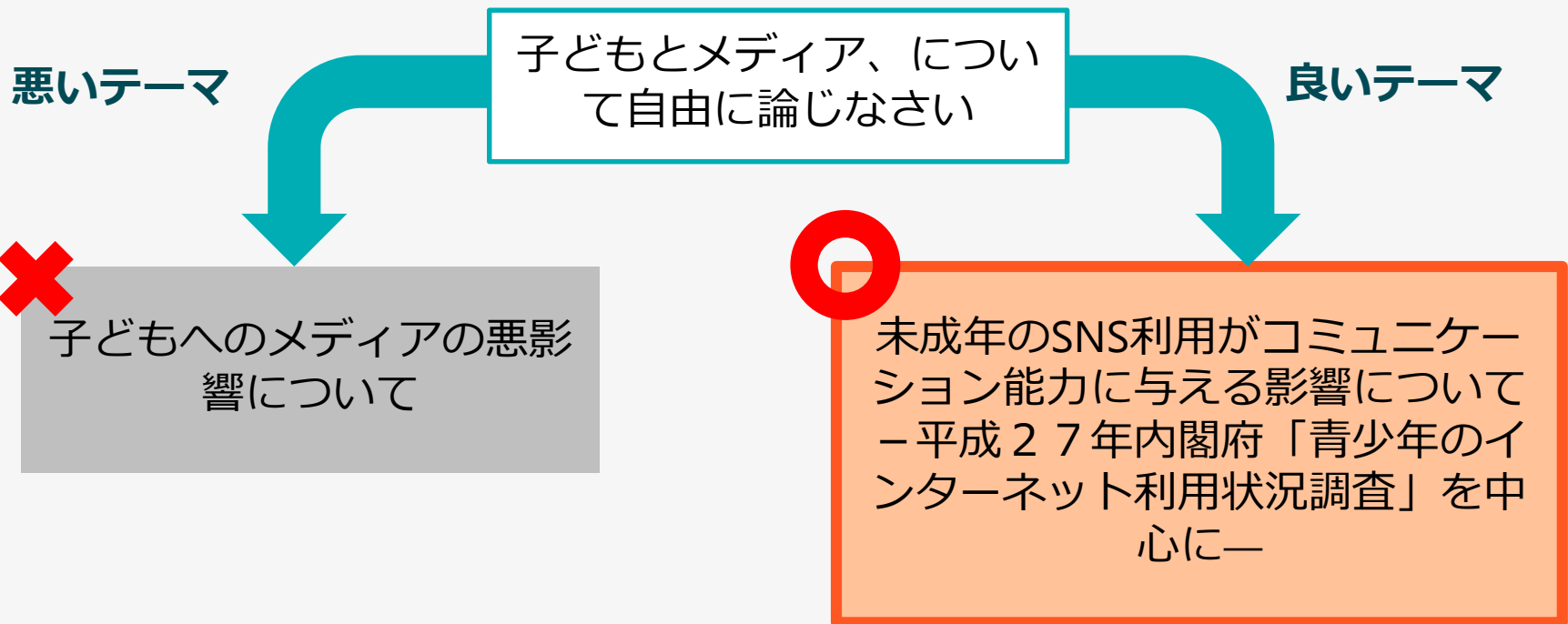
  - 文字数

  - 締切日

  - ...etc.

# テーマを決める

- テーマは個別的・具体的に





# アイディア検出法

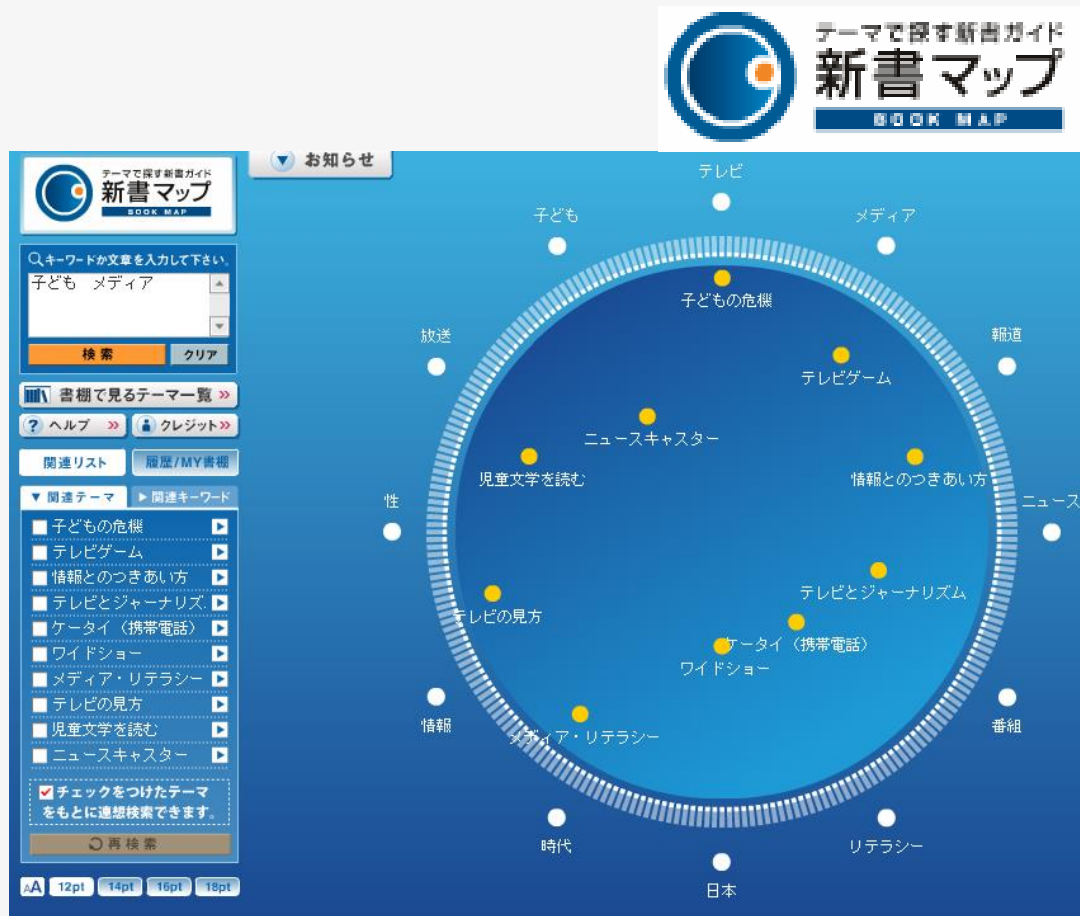
## ①新書を読んでみる

- ✓内容がコンパクト
- ✓読みやすい
- ✓最新のトピック・キーワード
- ✓全体像を把握
- ✓前提知識を得る

Google検索（無料サイト）

<http://shinshomap.info/search.php>

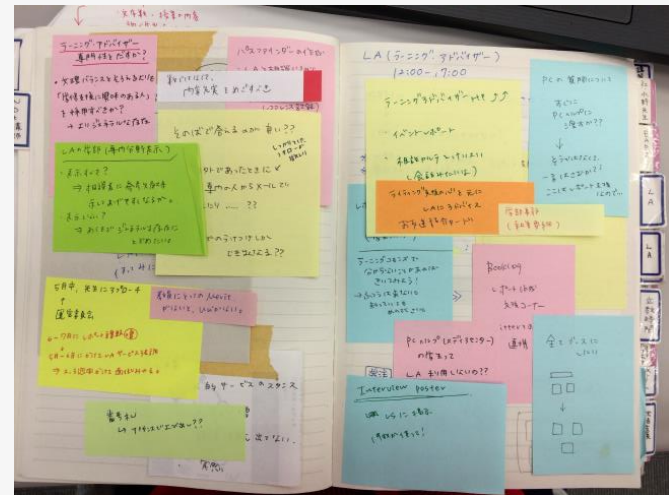
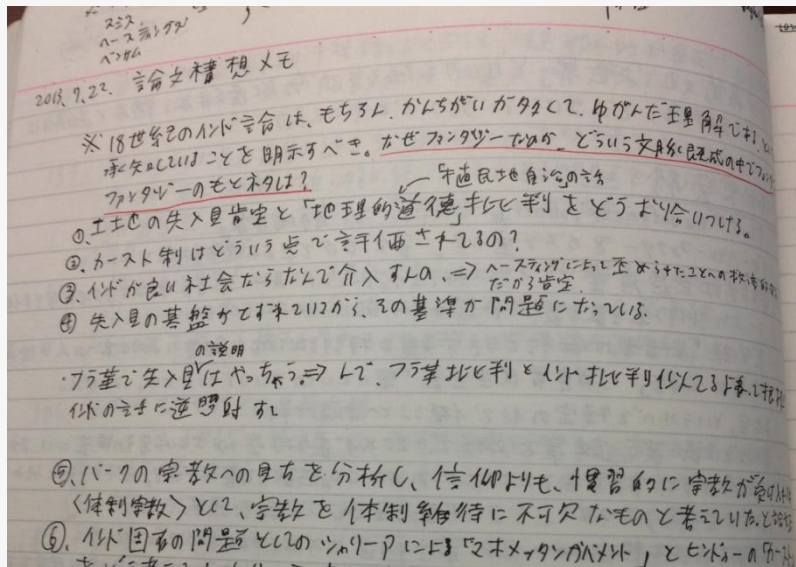
検索例) 子ども メディア



# アイデア検出法

## ②書き出す

- ✓ 疑問点などを箇条書きで列挙
- ✓ 200字程度の小論を書きたためる



# アイデア検出法

## ②書き出す

## ✓文献ノートの一例

《文献メモ》

分類：B—単行本；Ed—論文集論文；A—一次資

1. B-0001：塩川伸明（2008）、『民族とネイシ
2. B-0002：藤原帰一（2013）、『戦争の条件』
3. B-0003：内藤朝雄（2009）、『いじめの構造
4. B-0004：酒井隆史（2004）、『暴力の哲学』
5. B-0005：フーコー、ミシェル（2014）、『言
6. B-0006：Said, Edward W. (1993), *Culture*
7. J-0007：Kaldor, Mary. (2013), "In Defenc
8. B-0008：クラウゼヴィッツ、カール・フォン
9. B-0009：クラウゼヴィッツ、カール・フォン
10. B-0010：イグナティエフ、マイケル（2006
11. B-0011：ファノン、フランツ（1969）、『地
12. J-0012：竹中千春（2001）、『暴動の政治運
13. B-0013：藤原帰一（2001）、『戦争を記憶
14. B-0014：大江健三郎（1965）、『ヒロシマ
15. B-0015：Benhabib, Seyla. (2011), *Dignity*
16. B-0016：ベンハビブ、セイラ（2006）、『作
17. B-0017：杉田敦（2005）、『境界線の政治学
18. B-0018：ジョセフ・S・ナイ・ジュニア、
19. B-0019：大芝亮編著（2008）『国際政治学
20. B-0020：中西寛、石田淳、田所昌幸著（20
21. B-0021：Benhabib, Seyla. (2011), "New

書式設定

- 《文献メモ》
- 
- 分類：B—単行本；Ed—論文集論文；A—一次資料；N—新聞記事；J—ジャーナル
- 
- 
- 1. B-0001：塩川伸明（2008）、『民族とネイション—ナショナリズムという難問』岩波新書。
- 2. B-0002：藤原帰一（2013）、『戦争の条件』集英社新書。
- 3. B-0003：内藤朝雄（2009）、『いじめの構造 なぜ人が怪物になるのか』講談社現代新書。
- 4. B-0004：酒井隆史（2004）、『暴力の哲学』（シリーズ・道徳の系譜）河出書房新社。
- 5. B-0005：フーコー、ミシェル（2014）、『言説の領界』（慎改康之訳）河出文庫。（Michel Foucault (1971), *L'Ordre du discours. Leçon inaugurale au Collège de France prononcée le 2 décembre 1970*, Paris: Gallimard.)
- 6. B-0006：Said, Edward W. (1993), *Culture and Imperialism*, New York: Vintage Books. (エドワード・W・サイード(1998-2001)、『文化と帝国主義』（全2巻、大橋洋一訳）みすず書房)
- 7. J-0007：Kaldor, Mary. (2013), "In Defence of New Wars," *Stability: International Journal of Security and Development*, 2(1), pp. 1-16.
- 8. B-0008：クラウゼヴィッツ、カール・フォン（2001）、『戦争論』（レクラム版 日本クラウゼヴィッツ学会訳）芙蓉書房出版。

# アイデア検出法

## ②書き出す

## ✓研究ノートの一例

The image shows a screenshot of a word processor interface. On the left, there is a list of ideas, each with a unique identifier and a brief description. The main area on the right shows a detailed view of one of these ideas, including its title, identifier, and a list of related concepts or notes. The interface includes a toolbar at the top with various editing tools like bold, italic, underline, and text color.

15. 「ナショナリズムの存在感」：B-0002：ナショ

16. 「分離独立とマイノリティ転落の危機」：B-0003：い

17. 「学校的」な秩序「閉鎖空間」：B-0003：いじめ：暴

18. 「秩序の生態学的布置」：B-0003：秩序：暴力

19. 「群生秩序」：B-0003：秩序：暴力

20. 「全能感と全能筋書」：B-0003：支配：暴力

21. 「〈全能はずされ憤怒〉」：B-0003：いじめ：暴

22. 「体験加工」と「タフ」：B-0003：いじめ：

23. 「タフ」の戦略」：B-0003：いじめ：心理

24. 「利害と全能のマッチング」：B-0003：いじめ

25. 「祭政一致の政治空間」：B-0003：祝祭：ナシ

26. 「暴力と非暴力のあいだ」：B-0004：暴力：言

27. 「銃とファルス」：B-0004：暴力：ジェンダー

28. 「現代の潜在的暴力」：B-0004：暴力：

15. 「ナショナリズムの存在感」：B-0002：ナショナリズム：拘束：国際紛争理論

- 「政府による決定が反主流派の政治家や国民世論によって左右され、拘束される過程が存在するのである」「どちらの側も、問題が悪化した責任を相手に求めるのである」（：139-140）

16. 「分離独立とマイノリティ転落の危機」：B-0002：民族：マイノリティ

- 「多数派の非暴力と少数派の暴力という対照は、少数派は民主政治による自己実現を期待できないという制度的な特徴に根ざしたものだといえる」（：158）

17. 「学校的」な秩序「閉鎖空間」：B-0003：いじめ：暴力

- 「生徒たちは「濃密」に付和雷同して生きている」（：26）だから互いのちょっとした気分の変化がこわい

18. 「秩序の生態学的布置」：B-0003：秩序：暴力

- 我々はコミュニケーションを通じて「さまざまなローカル（小さな社会）秩序を生みだしながらその中で暮らしている」（：33）
- 「あるタイプの秩序が純粋にそれだけで存在することはまれである。あるタイプの秩序は別のタイプの秩序との関係の中に位置（生態学的ニッチ）を占めて存在している」（：33）
- 「さまざまな秩序のせめぎあいに応じて（中略）さまざまな現実感覚（リ

# 書き出した疑問点・論点を掘り下げる

## 【そもそもメディアってなんだろう？】

- ◆ テレビやインターネット、ゲームとかも入るかも…。
- ◆ 辞書によるとメディアは「媒体」という意味だから、LINEやFacebookなどのSNSもメディアに入るな。
- ◆ そういえば、LINEでのいじめってあったな。
- ◆ Twitterでの炎上騒動とかもあったし、**あれって子どもにも悪影響あるんじゃないかな。**



**興味・関心をつなげて  
考えてみる！**

子どもへのメディアの悪影響について、LINEなどの**SNS**を例に出し、これを**コミュニケーション能力**や**心の発達**への**悪影響**として論じられるんじゃないか？



# 書き出した疑問点・論点を掘り下げる

## 箇条書きしたアイデアからの第一歩

- ✓ 言葉・概念の定義を調べてみる（必ずしも明確でない場合も）
- ✓ 適当な事例を調べてみる（この時点では簡単に）



一旦、仮説を構築してみる。

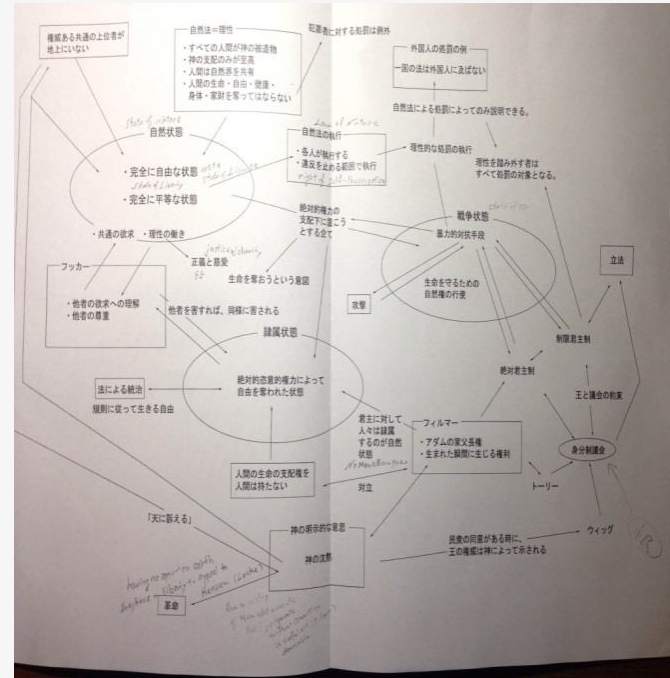
仮説：「SNSは子どものコミュニケーション能力や心の発達へ悪影響である。なぜなら〇〇だから」

# アイデア検出法

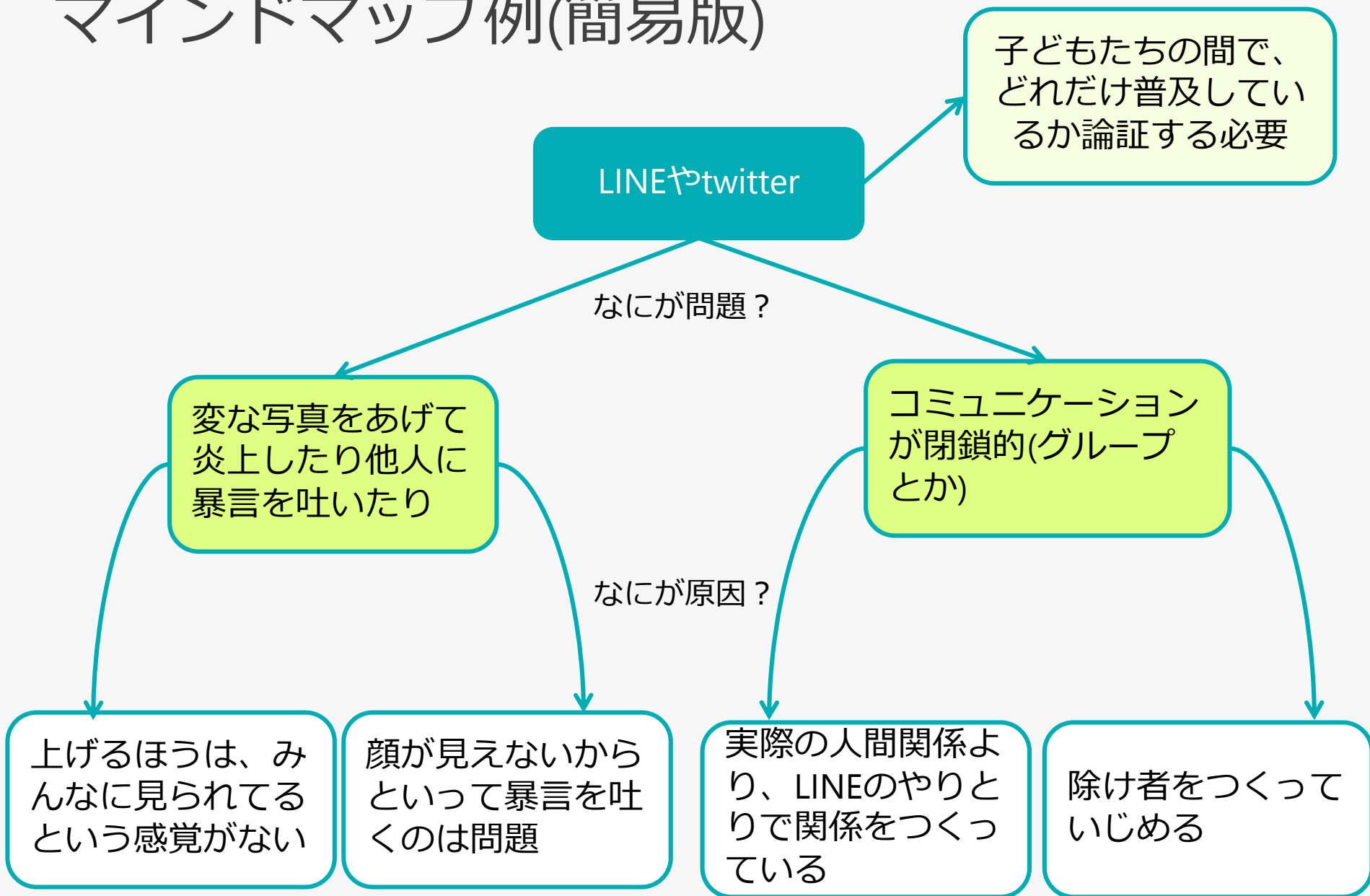
## ③ マインドマップを作成

- ✓ 論理的つながりを図式化してみる
- ✓ どういう根拠で論証していくか図式化

→ 思考の整理

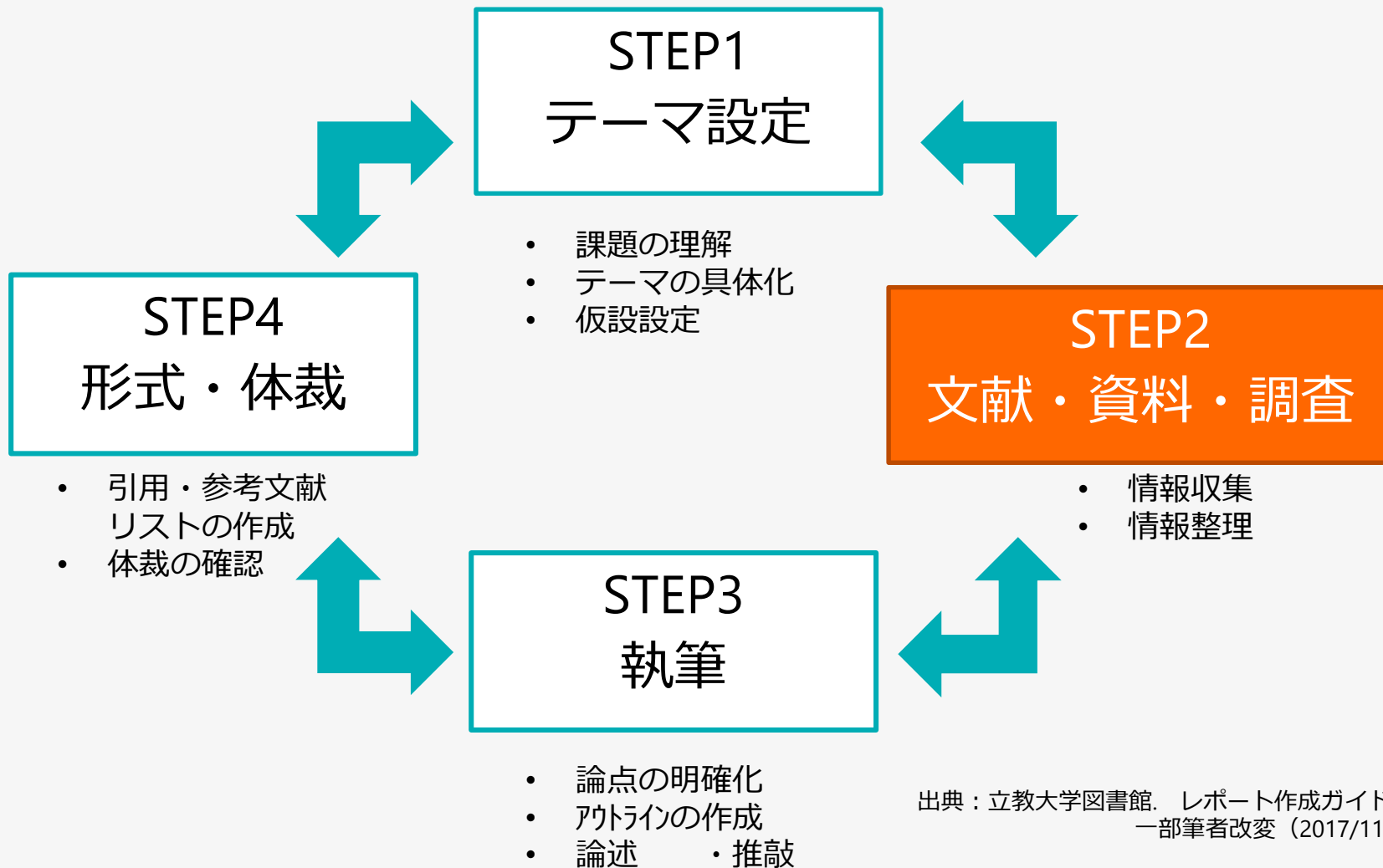


# マインドマップ例(簡易版)



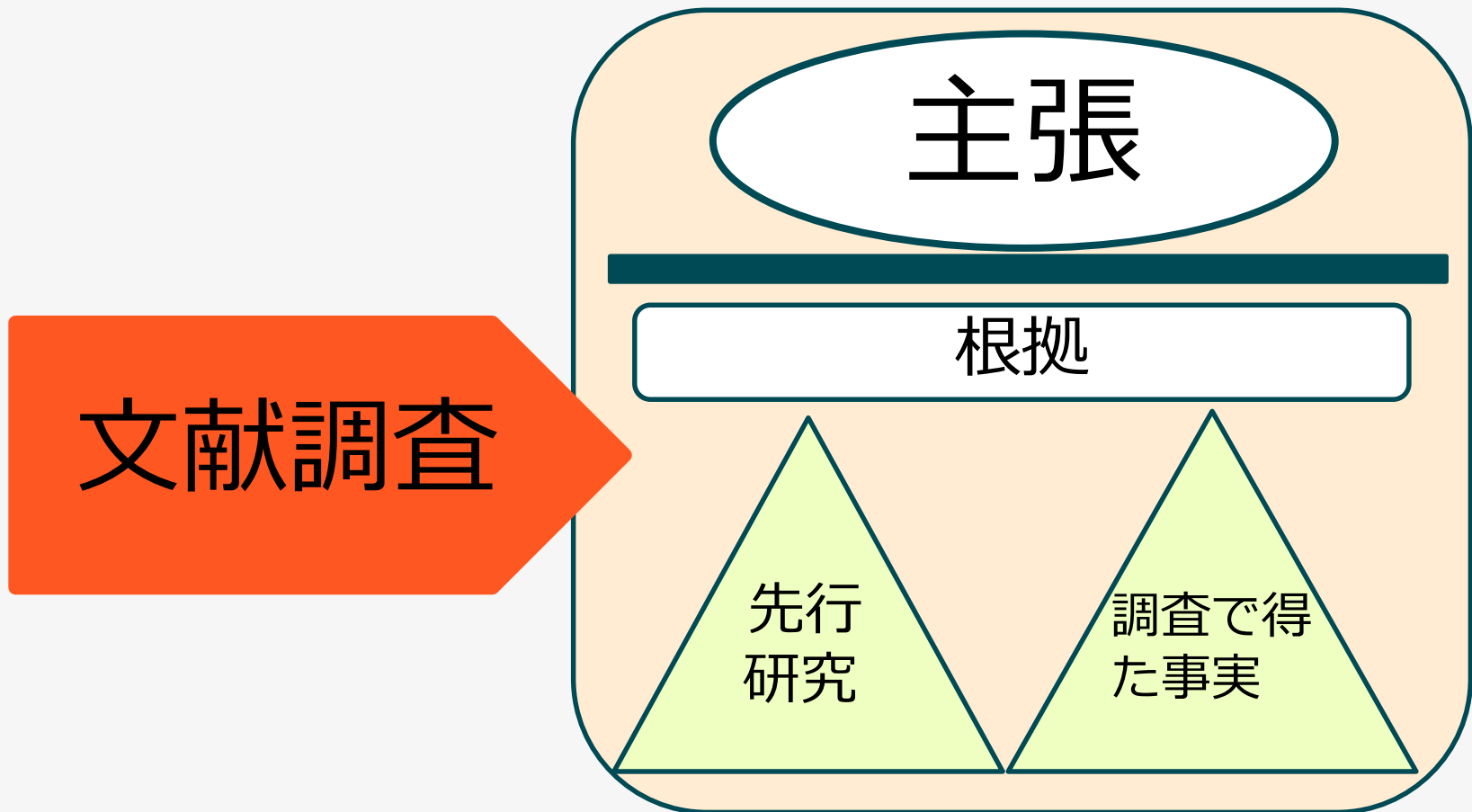


# レポート完成までの道筋



# なぜ文献・資料・調査が必要なのか

- 主張を裏付ける根拠を探するため



# 文献調査の手段

- ✓ 立教大学図書館が提供するオンラインデータベース
- ✓ 文献に掲載されている参考文献
- ✓ インターネットの検索サイト

※必ず、引用元のデータを確認し、  
**「孫引き」**にならないように注意！

# 代表的な文献調査ツール

- ✓ READ統合検索
- ✓ 立教大学OPAC（図書）
- ✓ CiNii Articles（雑誌記事・論文）
- ✓ 日経テレコン21、ヨミダス歴史館（新聞記事）
- ✓ e-stat（統計データ） など

アクセス：図書館ホームページ>オンラインデータベース「学部別」  
「目的別」

※様々な媒体からアプローチすることが大切！

※詳しくはラーニングアドバイザーへ！

# 学術的文章を読むときのポイント

- ① この本から自分は何を得たいか決める
- ② 著者の一番の主張に注目する
- ③ 著者の前提となっている文脈は何か
- ④ 目次、はじめに、終わりに、要約の4点を読む
- ⑤ 索引、参考文献覧を見る

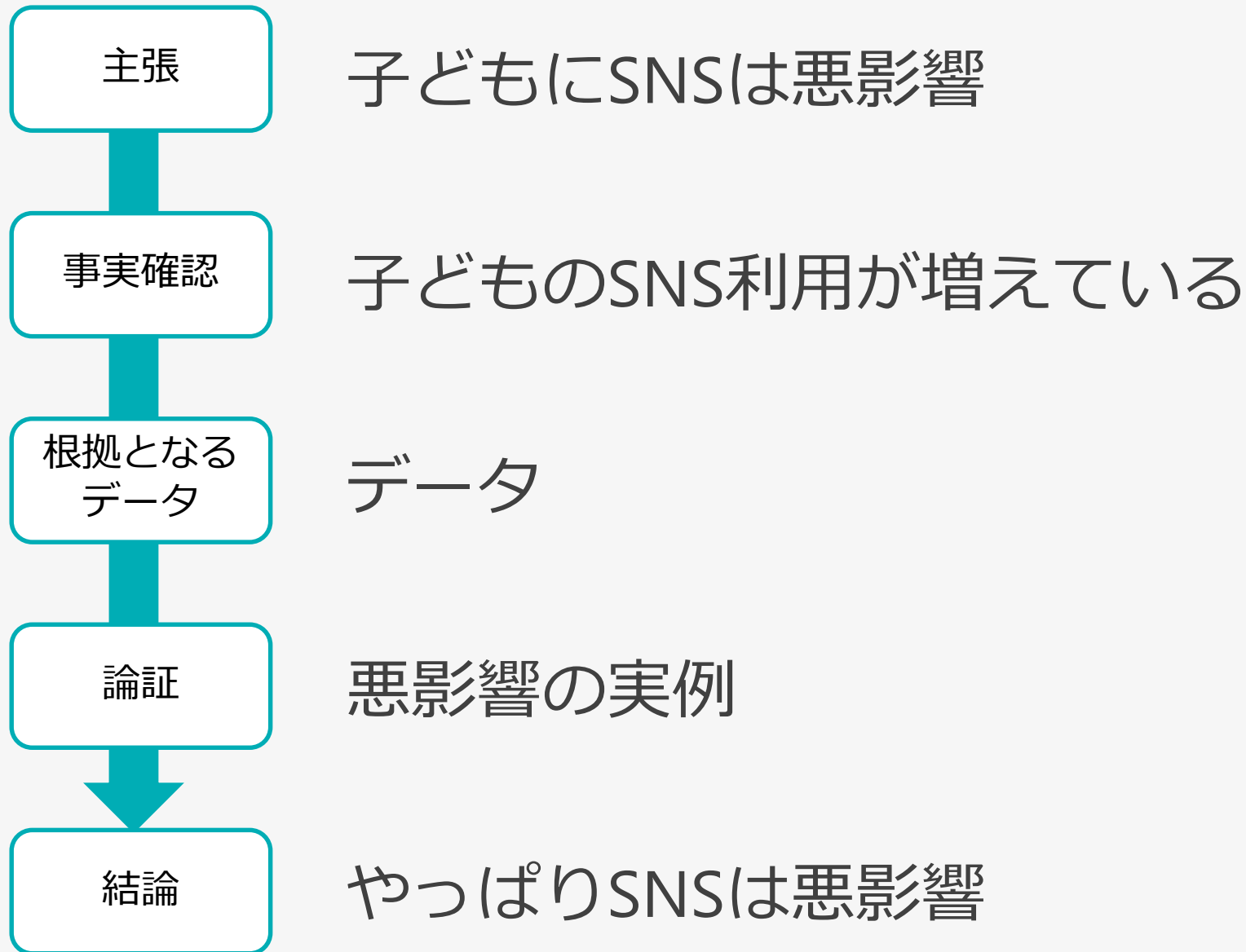
# 全体の構成を考える

「論じる順序」を考えてみる

## ポイント

- ✓ 各段落の性格を設定する
- ✓ 1段落につき1つの論点！

# アウトラインの一例（暫定的なもの）



# (例) インターネットの普及率

インターネット普及率やどんな端末を使っているか等が知りたい

まずは官公庁の統計・白書へ

青少年のインターネット利用環境実態調査などが出てくる

青少年のインターネット利用環境実態調査（概要）平成27年度

## 概要8 青少年及び保護者の年齢別の利用状況 -1 (インターネット)

- 青少年では、10歳から12歳で携帯ゲーム機、13歳から17歳でスマートフォンによるインターネット利用が多い。
- 保護者では、年齢が低い保護者ほどスマートフォンによるインターネット利用が多く、パソコンによる利用が少ない傾向

青少年及び保護者の各機器によるインターネット利用率



子どもへのインターネット普及について論じた図書・論文・新聞も探してみる

自身の主張の根拠となるデータを本文で引用したり参考文献として紹介する



# 論じることを明確にしていく

主張

新しいメディアが子供の心の育成に悪影響

事実確認

インターネットが普及している現状確認

根拠となる  
データ

実際のデータからSNSが普及していることを証明

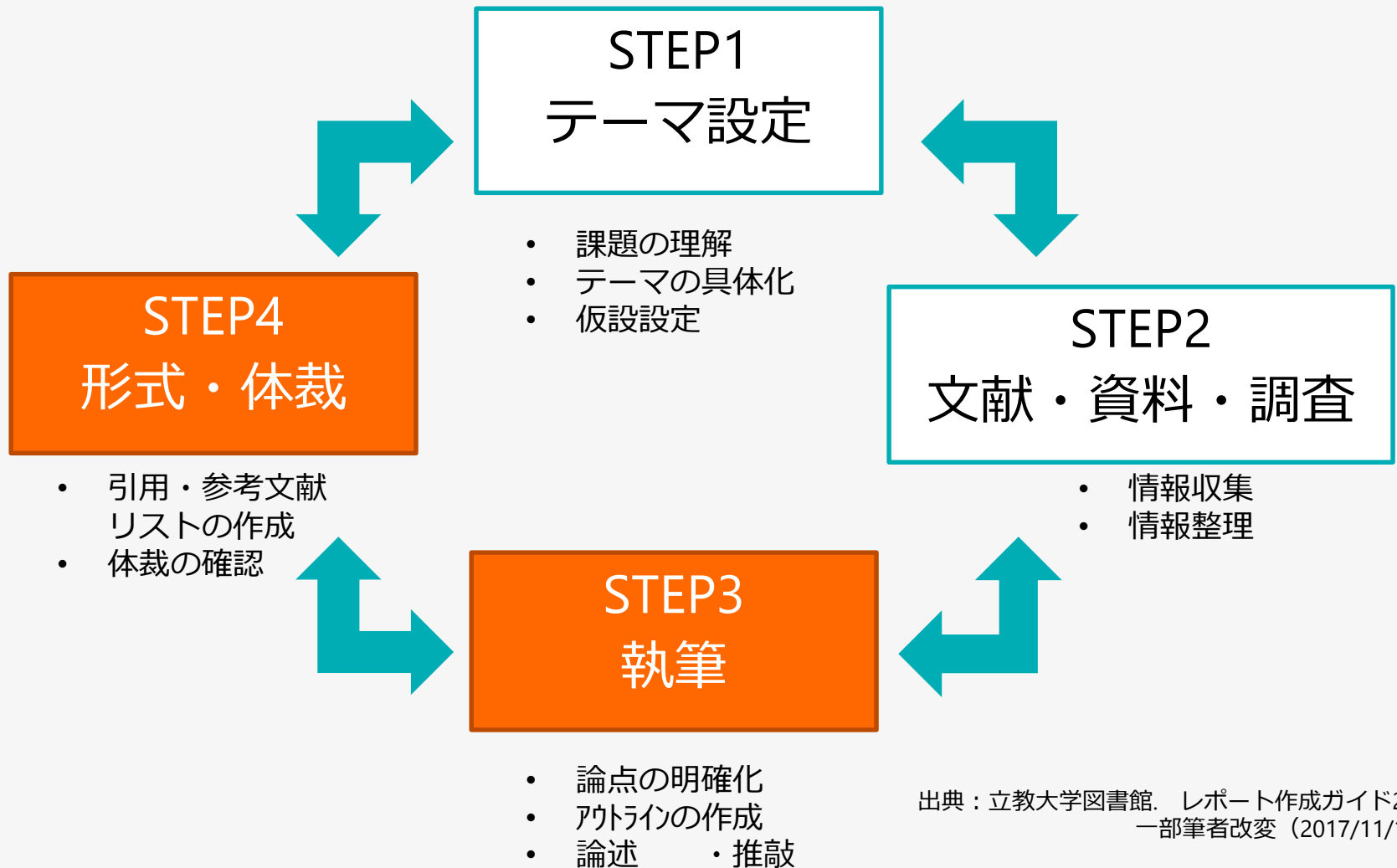
論証

コミュニケーションの偏重、SNSの関係が先行している実態を指摘

結論

やっぱりメディアは悪影響

# レポート完成までの道筋



# とにかく書き始める！

- 引用したデータの部分など、  
書きやすいところから書いていく
  - ✓ 書き出しはあとから考えてもよい
  - ✓ タイトルは書き終わったあとでもよい
- 主張は一つだけに絞る
  - ✓ いろいろ調べて、論じるべきことがでてきても意図的に無視して、論旨を一つにまとめる。

# 引用のルールを守ろう

- 自分の意見が“主”！
  - ✓ それを補完するための引用が“従”！
- 引用箇所は「」で、自分の文章と区別

# 推敲

- **読み手に**正しく伝わる文章になっているか  
(主語・述語、である調、簡潔さ、など)
- 論理の展開に無理がないか
- 他の人に読んでもらっても良い  
(ラーニングアドバイザーでもOK)

# 形式を整える、とは

## ● 文献リストを作成する

- ✓ 引用した文献（引用文献）・参考にした文献（参考文献）は、明記しなければならない
- ✓ 学問分野によって、順番や書き方が異なる
- ✓ 自分の専門分野の雑誌を参考にする

## ● 先生からの指示をチェック！

- ✓ 表紙をつけるのか、字数は合っているか・・・
- ✓ わからないなら聞く！間違えて提出するよりマシ。

参考

Master of Writing 「7. 文献表の書き方」

<http://www.rikkyo.ac.jp/about/activities/fd/qo9edr0000005dbr-att/MasterofWriting15-16p.pdf>

# ラーニングアドバイザー

レポートを書く前、書いた後、テーマ設定、  
情報検索・文献調査、論述のアプローチなど・・・



平日12:30～17:30  
池袋図書館 2階カウンター・ブース  
新座図書館2階「しおり」

予約  
不要

# レポート作成支援図書コーナー



- 池袋図書館 2階カウンター前
- 新座図書館 1階入口左側

レポート作成だけでなく、卒論、プレゼンテーションなどに関する本もあります。





**Q & A**  
**質問がある方は**  
**ラーニングアドバイザーまで**